

日本語の複文における「あるいは」と「または」の用法分析

序論

日本語の複文には2つ(またはそれ以上)の短文・節・句・単語を接続する接続詞が必要である。接続詞は7つに分類され、その一つに選択接続詞がある。富田によると選択接は前の文の内容か、後の文の内容かを選ぶ場合に使われる接続詞であり、として「あるいは」や「または」がある。

佐川と筒井によると「あるいは」は、

書きことば的な表現。あらたまった話しことばでも使われる。

「X(か)あるいは Y」の形で使われて、「X か Y のどちらか」という意味を表す。「X でも Y でもよいが、どちらか一方を選びなさい」という指示を与える場合によく使われる。また、「X か Y のどちらかの条件に当てはまれば、どちらでもよい」という場合に使う。似た表現に「X か Y」「X または Y」「X もしくは Y」がある。

横林と下村によると「または」は

名詞/名詞句、疑問文を選ぶ。並列的な二つの事柄のどちらを選んでもよいことを表す。「もしくは」「あるいは」も使える。

「あるいは」も「または」も選択接であるが、差異がある。「または」は接続詞に限って機能するが、「あるいは」は接続詞や副詞として機能できる。

佐川と筒井は

「あるいは...かもしれません」の形で使われて、話し手の推量を表す。「その可能性がある」という意味。似た表現に「ひょっとすると」「もしかすると」がある。「あるいは...のだろう」「あるいは...と思われる」など、話し手の推量を表す他の表現とともに使われることもある。

と言っている。

さらに、「あるいは」は複数の状況を述べるのに用いることもある。

佐川と筒井は

「あるいは...し、あるいは...し」の形で使われて、「あるものは...、あるものは...」というように、複数のもののそれぞれの行動や状態を並べて述べる場合に使う。

と言った。

本論

この論文の分析は統語論と意味論のカテゴリを使い、分析は次のように行う。短文・節・句・単語を結んでいる「あるいは」を「または」に（「または」を「あるいは」に）代用し、文法的と意味的に当てはまるかを分析する。

1. それはある場合には僕を慰めたり、あるいは励ましたりもしてくれた。

上の文には、節が2つを含まれる。一つ目の節は「それはある場合には僕を慰めたり」で2つ目の節は「励ましたりもしてくれた」である。一つ目の節と2つ目の節を接続するのに「あるいは」を使い、「慰めたり」か「励ましたり」かそれとも両方を選ぶことの意味を表す。つまり、「あるいは」は接続詞として機能し、「または」に代用することが可能である。

2. あるいは寿命が尽きて死んだのかもしれない。

上の文には、節が2つを含まれる。一つ目の節は「あるいは寿命が尽きて」、2つ目の節は「死んだのかもしれない」である。上の文には「～て」形を使って、一つ目の節と2つ目の節を接続する。文の最後には「～かもしれない」が含まれる。「あるいは...～かもしれない」の表現になり、「もしかすると」のような推量の意味を表す。つまり、「ある

いは」は副詞として機能する。上の文には、「あるいは」を「または」に代用することが不可能である。

3. 頭上には星が、あるいは密集して、あるいは散らばって、それぞれの位置を占めている。

上の文には、複数の状況が含まれる。一つ目の状況は「密集する」、二つ目の状況は「散らばる」である。この複数の状況を述べるのに「あるいは...あるいは...」の表現を使い、その複数の状況は動詞であるから「～て」形を使って接続する。つまり、「あるいは」は副詞として機能し、AかBかを選ぶことの意味ではない。「あるいは」を「または」に代用することが不可能である。

4. ブログまたはホームページを運営していますか？

上の文は疑問文である。「または」は2つの単語の間に位置される。一つ目の単語は「ブログ」、二つ目の単語は「ホームページ」である。「または」は接続詞として機能し、「ブログ」か「ホームページ」か、それとも両方を選ぶことの意味である。「または」を「あるいは」に代用することが可能である。

結論

- 「あるいは」や「または」は接続詞の選択接続詞である。語と語・語と句（句と語）・節と節・文と文の間に位置することができる。「あるいは」は選択接であるが、「あるいは...～かもしれません」の表現を持つ場合、副詞として機能する。そして、「あるいは...あるいは...」の表現は複数の状況を述べるのに用いる。
- 「あるいは」と「または」は選択接として2つの事柄を選び、それとも両方を選んでもよいことの意味を示す。「あるいは」は副詞として機能する場合、話し手の推量を表す。
- 「あるいは」と「または」には差異がある。接続詞として機能する場合、「あるいは」と「または」に（「または」を「あるいは」に）代用できるが、「あるいは」は副詞として機能する場合には「または」に代用できない。また、複数の状況を述べるのに「あるいは...あるいは...」の表現を使う場合にも「または...または...」に代用できない。「または」は接続詞の選択接に限って機能する。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
BAB IPENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	8
1.3 Tujuan Penelitian.....	9
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Penelitian.....	9
1.5 Organisasi Penelitian.....	10
BAB II KAJIAN TEORI	12
2.1 Sintaksis.....	12
2.1.1 Kalimat Tunggal.....	16
2.1.2 Kalimat Majemuk.....	17
2.2 接続詞 (<i>Setsuzokushi</i>)	22
2.3 Semantik	23
2.4 または (<i>Matawa</i>)	25
2.5 あるいは (<i>Aruiwa</i>).....	27
BAB III ANALISIS	32
3.1 あるいは(<i>Aruiwa</i>).....	33
3.2 または(<i>Matawa</i>).....	57

BAB IV SIMPULAN.....	68
DAFTAR PUSTAKA.....	70
LAMPIRAN I.....	v
LAMPIRAN II.....	xix
SINOPSIS.....	xxxiii
RIWAYAT HIDUP.....	xxxviii